

地 域 再 生 計 画

1 地域再生計画の名称

清らかな森と水のまちづくり、いせの水環境再生計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

伊勢市

3 地域再生計画の区域

伊勢市の全域

4 地域再生計画の目標

4-1 伊勢市の概要

伊勢市は、三重県の東南部に位置し、面積は208.53平方キロメートルである。市内面積の約4分の1を占める神宮林を始め、豊かな森林、清浄な水、清涼な空気などの自然環境にも恵まれている。また、伊勢志摩国立公園の玄関口に当り、古くから「お伊勢さん」として広く親しまれ、歴史的・文化遺産を数多く有し、全国各地から多くの観光客が訪れている。特に市街地の中央を流れる勢田川は、古くは水運で賑わい、商家、蔵、切妻妻入の木造住宅や伊勢独自の小路である世古が今も残り、伊勢らしいまちなみを伝えており、観光名所のひとつとなっている。勢田川の水環境は地域住民の生活に結びつくとともに観光客をもてなす役割を有している。

4-2 水環境の現状と課題

市内を流れる主な河川は、神宮林を擁する宮川、五十鈴川のほか、勢田川が一級河川として伊勢湾に注いでいる。なかでも宮川は清流として日本でも有数の水質を誇り、五十鈴川についても神宮林から流れる清流として水質は良好に保たれている。

その一方で、勢田川は市内人口の20%以上の生活排水が流入していることから水質汚濁が著しい状況となっている。

三重県の水質調査結果によると平成10年から10年連続で勢田川が県下ワースト1の水質であった。また、勢田川流域は平成3年に水質汚濁防止法の規定に基づき生活排水対策重点地域に指定され、これまで様々な施策が講じられているところである。

平成17年度から平成26年度にかけては地域再生計画「美しいまちづくり・きれいな勢田川の水環境づくり」と称し、勢田川流域である伊勢神宮外宮周辺の住宅密集地や商業地域を重点的に汚水処理施設の整備を実施してきた。

近年の勢田川（勢田大橋）のBOD（生物化学的酸素要求量）については、やや減少傾向を示しているものの、高い値を示すこともあり、依然として生活排水などの影響を強く受けていると考えられる。流域内可住地域の50%以上が今なお公共下水道未整備となっており、その改善を図ることがまちづくりの重要な課題となっている。

4-3 計画の目標

より良い水環境を創造し、水辺地域の活性化を目指すために水質汚濁が著しい勢田川的生活排水対策を進める。

生活排水対策の推進には、公共下水道や浄化槽等の生活排水処理施設の整備が効果的であるため、ハード面では、引き続き他市に比べ遅れている公共下水道の整備を進めることとし、市民一人ひとりが生活排水への関心を持つことが重要であり、身近にできる生活排水対策の意識高揚を市民・行政が共同して取り組んでいくこととする。

伊勢市では、入込客数を測る指標として、神宮参拝者数(延べ)を採用している。入込客数は遷宮を節目として増減を繰り返しており、参拝者数がピークの年となる平成25年は、第62回神宮式年遷宮の効果で予想を大きく上回り約1,420万人であった。

伊勢市観光振興基本計画(平成26年3月策定)において平成29年の入込客数は750万人と推計されているところであるが、近年の外宮周辺(勢田川流域でもある)の賑わいにより入込客数が今後増加していくことが期待されるため、目標値を800万人とする。

ピークの前年(平成24年)入込客数は803万人であったことから遷宮後の入込客数の減少を抑えたいと考えている。

(目標1) 汚水処理整備の推進

汚水処理人口普及率

[基準値] 65.7% (平成25年度末)

[中間目標値] 77.8% (平成29年度末)

[計画目標値] 85.8% (平成31年度末)

※指標値：汚水処理人口調査結果

(目標2) 勢田川の水質改善

勢田川(勢田大橋)のBOD(生物化学的酸素要求量)75%値

[基準値] 4.7mg/l (平成25年度)

[中間目標値] 4.0mg/l (平成29年度)

[計画目標値] 3.0mg/l (平成31年度)

※指標値：三重の環境公共用水域及び地下水の水質調査結果

(目標3) 伊勢市への観光入込客数

伊勢神宮への参拝者数

[基準値] 803万人 (平成24年)

[中間目標値] 800万人 (平成29年)

[計画目標値] 800万人 (平成31年)

※指標値：伊勢市観光統計

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

伊勢市の水環境再生を図ることにより清らかな森と水のまちづくりを目指すべく、汚水処理施設(公共下水道、浄化槽)の整備を促進する。

公共下水道の整備については、流域関連伊勢市公共下水道事業として、伊勢市全域で平成31年度下水道処理人口普及率56%を目標とし、当計画において勢田川流域の整備を重点的に行う。

浄化槽(個人設置型)の整備については、平成27年度から平成31年度までの5ヵ年において、市内全域で浄化槽基数2,225基の整備を行う。

ソフト面では、市民一人ひとりが生活排水への関心を持つことが重要であり、身近にできる生活排水対策の意識高揚を市民・行政が協働して取組んでいくこととする。伊勢市環境会議などを中心に啓発活動の推進することとする。

5-2 特定政策課題に関する事項

該当なし

5-3 法第5章の特別の措置を適用して行う事業

汚水処理施設整備交付金【A3002】

公共下水道整備において対象となる事業は、以下のとおり事業開始に係る手続き等を完了している。なお、整備箇所等については、別添の整備箇所を示した図面による。

公共下水道・・・平成26年5月に事業計画策定

[事業主体]

- ・伊勢市

[施設の種類]

- ・公共下水道
- ・浄化槽（個人設置型）

[事業区域]

- ・公共下水道

伊勢市内宮第1処理分区	伊勢市内宮第2処理分区	伊勢市外宮第1処理分区
〃 外宮第2処理分区	〃 外宮第3処理分区	〃 外宮第4処理分区
〃 外宮第5処理分区	〃 外宮第6処理分区	〃 外宮第8処理分区
〃 外宮第9処理分区	〃 外宮第11処理分区	〃 北部第1処理分区
〃 北部第2処理分区	〃 北部第3処理分区	〃 御菌処理分区
〃 国道南面処理分区	〃 長屋・桧尻川処理分区	〃 高向処理分区
〃 本町処理分区	〃 明星第1処理分区	〃 明星第2処理分区
〃 明星第3処理分区	〃 大湊第1処理分区	〃 大湊第2処理分区
〃 大湊第4処理分区		

- ・浄化槽（個人設置型）

伊勢市全域（ただし、公共下水道で整備する区域を除く。）

[事業期間]

- ・公共下水道 平成27年度～平成31年度
- ・浄化槽（個人設置型） 平成27年度～平成31年度

[整備量]

- ・公共下水道

交付金対象事業 直径75mm～350mm 13,800m

- 単独対象事業 直径150mm 10,000m
- ・浄化槽（個人設置型）
2,225基

〔事業費〕

- ・公共下水道事業費 2,180,000千円（内、交付金1,090,000千円）
- ・公共下水道単独事業費 1,906,000千円
- ・浄化槽（個人設置型）事業費 662,200千円（内、交付金 220,730千円）
- ・総事業費 4,748,200千円（内、交付金1,310,730千円）

〔整備による新規の処理人口〕

- ・公共下水道
8,769人 第4期事業認可予定区域（平成31年度末）
- ・浄化槽
5,390人 伊勢市全域（ただし、公共下水道で整備する区域を除く。）

5-4 その他の事業

5-4-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-4-2 複数事業と密接に関連させて効果を高める独自の取組

該当なし

5-4-3 支援措置によらない独自の取組

市民と行政の協同による生活排水対策

内 容 住民ボランティアにより平成8年度から毎年開催している河川美化清掃活動「勢田川おおそうじ」を継続して支援し、美しい水環境を守る活動を行う。また、伊勢市環境会議を中心に、生活排水対策の啓発活動を行う。

<主な取組>

勢田川七夕おおそうじ、キャンドルナイト、水生生物による水質調査、エコ・クッキング教室、環境フェアへの出展、勢田川浄化実験、アクリルたわしづくり等の出前講座

事業主体 伊勢市環境会議（事務局：伊勢市環境課）

実施期間 平成24年4月1日～継続中

5-5 計画期間

平成27年度～平成31年度

6 目標の達成状況に係る評価に関する事項

6-1 目標の達成状況に係る評価の手法

4に示す地域再生計画の目標については、中間年度及び計画年度終了後に三重県伊勢市が必

要な調査、評価、公表し、必要に応じて変更する。

(目標1) 汚水処理人口普及率は汚水処理人口調査結果を用いる。

(目標2) 勢田川(勢田大橋)のBOD(生物化学的酸素要求量)75%値は、国土交通省が実施する水質測定値を用いる。

(目標3) 伊勢神宮への参拝者数は、伊勢市観光振興基本計画(平成26年3月策定)に基づく伊勢市観光統計結果を用いる。

6-2 目標の達成状況に係る評価の時期及び評価を行う内容

	基準年値 (基準年)	中間目標値 (中間年)	計画目標値 (計画年)
目標1 汚水処理人口普及率	65.7% (H25年度末)	77.8% (H29年度末)	85.8% (H31年度末)
目標2 勢田川(勢田大橋)のBOD(生物化学的酸素要求量)75%値	4.7mg/l (H25年度)	4.0mg/l (H29年度)	3.0mg/l (H31年度)
目標3 伊勢神宮への参拝者数	803万人 (H24年)	800万人 (H29年)	800万人 (H31年)

(指標とする数値の収集方法)

項目	収集方法
汚水処理人口普及率	伊勢市の汚水処理人口調査結果より
勢田川のBOD75%値	国土交通省が実施する水質測定値より
伊勢神宮への参拝者数	伊勢市観光統計により

目標の達成状況以外の評価を行う内容

1. 事業の進捗状況
2. 総合的な評価や今後の方針

6-3 目標の達成状況に係る公表の手法

4に示す地域再生計画の目標については、中間評価及び事後評価の内容を速やかにインターネット(伊勢市環境課のホームページ)により公表する。

6-4 その他

該当なし

7 構造改革特別区域計画に関する事項

該当なし

8 中心市街地活性化基本計画に関する事項

該当なし

9 産業集積形成等基本計画に関する事項

該当なし